

## 2021年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第8回	参加者数	40名	
テーマ	紅葉の公園散策～ドングリや木の実・草の実～			
実施日	2021年11月14日	天候	晴れ	
場所	垂坂公園			
コース	開会時刻（10：00） A班：エントランス広場→交流広場→水辺の広場→エントランス広場 B班：エントランス広場→水辺の広場→交流広場→エントランス広場 解散時刻（12：00）			
指導内容など 定員40人の事前申し込み制にて実施。 コロナ対策で参加者を2班に分けて実施。バリアフリーコースは希望者なし。 ・メタセコイヤとラクウショウの違いを説明。 ・クヌギやスダジイ等のドングリの形の違いを観察。 ・ドングリに卵を産むハイイロチョッキリの話。      ・カツラの落ち葉の匂いを紹介。 ・ムクロジの羽状複葉の様子を観察。種を羽根つきに使うことを紹介。 ・タラヨウの葉に文字が書ける様子を体験してもらった。      ・ムクノキの実の試食。 ・ムラサキシジミの越冬の様子を説明。      ・池の縁でカワセミを観察。 ・垂坂山の地質と万古焼原料の青粘土の説明。				
参加者の声など（抜粋） ・子どもが夢中になりドングリを拾っていました。 ・楽しく勉強させていただきました。 ・カワセミが見られて幸運だった。秋の実・葉がたくさん見られて良かった。 ・声も聞き取りやすく、参加者と先生の人数も最適だと思います。				

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）	
植物	ラクウショウ、メタセコイヤ、ヤブツバキ、ハマヒサカキ、ユリノキ、ムクノキ、キササゲ、ムクロジ、タラヨウ、クロガネモチ、アラカシ、シラカシ、ウバメガシ、クヌギ、スダジイ、アカシデ、カクレミノ、ゴンズイ、マユミ、サンシュユ、モミジバフウ、ハナズオウ、センダン、イロハモミジ、ピラカンサ、ネムノキ、イチョウ、バクチノキ、タブ、カツラ、ヒトツバタゴ、ナンキンハゼ、イイギリ、ソメイヨシノ、トウカエデ、タイサンボク、サイカチ、ザクロ、ヒメジャラ、トベラ、シモツケ、ムラサキシキブ、ヒイラギ、セイヨウヒイラギ、シナヒイラギ、モッコク、ヤブラン
昆虫	ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、キタキチョウ、クサギカメムシ、ツマグロヒョウモン、アブラゼミ（抜け殻）、ゴキブリ sp.、ハラビロカマキリ（卵しょう）、ミラサキシジミ、マダラバッタ、ナツアカネ、カネタタキ、ミツカドコオロギ、オカメコオロギ
クモ	ジョロウグモ
石	青粘土
野鳥	ハシボソガラス、メジロ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、カワセミ、シロハラ（羽・フン）、キジバト、セグロセキレイ、ハシブトガラス、ヤマガラ、エナガ、キセキレイ
その他	ニホンアマガエル、モグラ（痕跡）

メタセコイヤとラクウショウの観察



タラヨウの葉に文字を書く



青粘土と万古焼の話



ドングリに卵を産むハイイロチョッキリの話

